

令和5年度 大田区立志茂田小学校 自己評価 報告書 成果指標

○ 本校の概要

学校経営の基本方針は、「安心、安全で楽しく学べる『子どもが主役』の学校」「教職員が情熱と使命感にあふれ、互いに高め合い協働する学校」「地域、保護者から信頼され、地域の教育拠点として地域、保護者と協働して子どもたちを育む学校」を目指し、今年度のスローガンを、「挑戦なくして成長なし～No growth without Challenge～」とした。挑戦は人生を豊かにする。成功からは自信を得、失敗からは知恵を得る。結果を求めるのではなく、目標に向かって本気の努力ができる児童を育てていく。親和的関係性の構築を指導の基幹に据え、児童の自尊感情を育てること、共生社会の一員としての自覚を養うことに重きを置いて日々の教育活動を行っている。一町会一学校という特長を生かし、地域の皆様、スクールサポートも、PTAと連携協働し、ともに育てる教育を大切にしている。9月1日よりコミュニティースクールとしてさらに地域と一体となった教育を目指す。感染症対策により様々な交流が制限される中、学校ホームページで日々の児童の様子を毎日発信し、志茂田小学校に関わってくださる方々への情報提供を行っている。質の高い学びと心身の健康増進の実現に向け、教職員一丸となって教育活動を推進して行く。また、今年度より志茂田中学校との連携教育の一層の充実を図り、児童・生徒が義務教育9年間を通して充実した学校生活が送れるような学校づくりを行う。□

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
						評価	人数
ブラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にしっかりと対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	4：「わたしはコンピューターやインターネットを使って、情報を集めて考えをまとめたり発表したりすることができる。」と回答する児童が80%以上	3	・児童アンケートで肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、77%であった。普段から「おおたの未来づくり」の学習などでタブレットを活用してプレゼン作成・発表等に活用し、児童も慣れてきている。今後も授業で活用していく。(児童回答率95%、保護者回収率81%)	A	6
		理論的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	3：「わたしはコンピューターやインターネットを使って、情報を集めて考えをまとめたり発表したりすることができる。」と回答する児童が70%以上			B	3
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	2：「わたしはコンピューターやインターネットを使って、情報を集めて考えをまとめたり発表したりすることができる。」と回答する児童が60%以上			C	0
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	1：「わたしはコンピューターやインターネットを使って、情報を集めて考えをまとめたり発表したりすることができる。」と回答する児童が60%未満			D	0
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学年一実践」運動を実践する。					
		看護教諭、栄養教諭と連携し、全学級で健康教育及び食育を実施する。					
ブラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4：「先生たちは、分かりやすい授業に努め、学習指導を工夫している」と回答する児童が85%以上保護者が85%以上	4	・保護者アンケートで肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、97%、児童アンケートで肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、90%であった。このことからほとんどの児童は授業が分かりやすいと感じているが、1割の児童に目を向け、今後さらに分かりやすい授業に取り組む。(児童回答率95%、保護者回収率81%)	A	7
		算数到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3：「先生たちは、分かりやすい授業に努め、学習指導を工夫している」と回答する児童が80%以上保護者が80%以上			B	3
		学習補助員等による算数の補習を実施する。	2：「先生たちは、分かりやすい授業に努め、学習指導を工夫している」と回答する児童が70%以上保護者が70%以上			C	0
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	1：「先生たちは、分かりやすい授業に努め、学習指導を工夫している」と回答する児童が70%未満保護者が70%未満			D	0
		朝算数や朝読書の時間を活用し、基礎的な計算力、読解力の向上を図る。					
ブラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心を大きくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4：「わたしにはよいところがあります」と回答する児童が80%以上「学校は、子供の自己肯定感を育む指導を工夫している」と回答する保護者が85%以上	3	・保護者アンケートで肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、98%、児童アンケートで肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、66%と保護者-児童の差が大きい。児童は自身を振り返り、悪いところもあると思った児童が否定的な回答をした可能性がある。日頃より児童を褒め、自己肯定感が高まるように取り組む。(児童回答率95%、保護者回収率81%)	A	3
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3：「わたしにはよいところがあります」と回答する児童が75%以上「学校は、子供の自己肯定感を育む指導を工夫している」と回答する保護者が80%以上			B	5
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	2：「わたしにはよいところがあります」と回答する児童が70%以上「学校は、子供の自己肯定感を育む指導を工夫している」と回答する保護者が75%以上			C	0
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	1：「わたしにはよいところがあります」と回答する児童が70%未満「学校は、子供の自己肯定感を育む指導を工夫している」と回答する保護者が75%未満			D	0
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童に関するケース会議等を実施する。					
		児童が主体的に考え話し合いを通して深く学ぶ学習活動を通して、児童の自己肯定感を高める授業を実践している。					
ブラン4 体力の向上と健康の増進	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4：「体を動かすことが好き」と回答する児童が75%以上「学校は子供たちの体力向上に取り組んでいる」と回答する保護者が85%以上	4	・保護者アンケートで肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、99%、児童アンケートで肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、83%だった。ほとんどの保護者は体力向上に取り組んでいると評価し、多くの児童が体を動かすことが好きと答えている。朝遊びや朝体育、持久走大会等を引き続き取り組む。(保護者回答率81%)	A	8
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	3：「体を動かすことが好き」と回答する児童が70%以上「学校は子供たちの体力向上に取り組んでいる」と回答する保護者が80%以上			B	1
		体育的行事、部活動体験、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	2：「体を動かすことが好き」と回答する児童が65%以上「学校は子供たちの体力向上に取り組んでいる」と回答する保護者が70%以上			C	0
		「一校一取組」「マイクラススポーツ」を取り入れ、年間を通して体力向上に取り組んでいる。	1：「体を動かすことが好き」と回答する児童が65%未満「学校は子供たちの体力向上に取り組んでいる」と回答する保護者が70%未満			D	0
ブラン5 魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4：「私は授業の内容がよくわかります」と回答する児童が85%以上「子供は、授業の内容がよく分かっている」と回答する保護者が85%以上	4	・保護者アンケートにて肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、92%、児童アンケートで肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、87%であり、昨年から5P上がった。ほとんどの児童は授業が分かりやすいと感じているが、否定的な回答をした1割強の児童に目を向け、今後さらに分かりやすい授業に取り組む。(保護者回答率81%)	A	8
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しLOJTを充実させる。	3：「私は授業の内容がよくわかります」と回答する児童が80%以上「子供は、授業の内容がよく分かっている」と回答する保護者が80%以上			B	0
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	2：「私は授業の内容がよくわかります」と回答する児童が70%以上「子供は、授業の内容がよく分かっている」と回答する保護者が70%以上			C	0
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	1：「私は授業の内容がよくわかります」と回答する児童が70%未満「子供は、授業の内容がよく分かっている」と回答する保護者が70%未満			D	0
		一人当たり年間3回の授業観察を教員間で見合い、成果と課題を明確にし授業力を高める。					
ブラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。 PTA、親見(おやじ)の会等保護者と連携し、それぞれの役割を明確にした教育活動を充実させる。 中学校やおたつ子広場など、地域の関係機関との連携を積極的に進め、教育活動を充実させる。	4：「学校は、地域の力を積極的に活用し、地域と連携した教育活動をしている」と回答する保護者が90%以上	4	・保護者アンケートにて肯定的な回答(4段階評価の上位2つ)は、99%であった。9月1日からコミュニティースクールとなり、日頃からの連携に対して御評価をいただいた。今後も、地域との連携をより深めた学習や行事活動に取り組んでいく。(保護者回答率81%)	A	9	
		3：「学校は、地域の力を積極的に活用し、地域と連携した教育活動をしている」と回答する保護者が80%以上			B	0	
		2：「学校は、地域の力を積極的に活用し、地域と連携した教育活動をしている」と回答する保護者が70%以上			C	0	
		1：「学校は、地域の力を積極的に活用し、地域と連携した教育活動をしている」と回答する保護者が70%未満			D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。